2021年2月11日（木曜日）の琉球新報に
病院への夜食支援について掲載されました！

コロナに負けず 支え合い

夜食用のパンを医療機関に提供

うるまのパン・アキモト

【うるま】うるま市州崎で防災備蓄用の「パンの缶詰」を製造するパン・アキモト（本社・栃木県、秋元義彦社長）が1月から、うるま市の県立中部病院と北中城村の中部徳洲会病院に夜食用のパンを届けている＝写真（パン・アキモト提供）。新型コロナウイルス感染症への対応で激務が続く医療機関を励ますことが目的。同社は「パン屋としてできる形で感謝を伝えたい」と話している。

同社は1月26日から2月後半にかけて県立中部病院に計480個（1日当たり80個）、中部徳洲会病院に計800個（同100個）を、それぞれ週2回ずつ届ける。提供数は医療機関の担当者と相談して決めた。

同社は昨年から本社がある栃木県でも基幹病院へのパンの提供を続けている。